

令和7(2025)年度

施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市民意向調査（市民アンケート調査）報告書

令和7(2025)年5月

栃木県真岡市

目 次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	
(2) 調査対象地域	
(3) 調査対象者	
(4) 抽出方法	
(5) 調査方法	
(6) 調査期間	
(7) 回収状況	
2 調査の結果	3
【回答者の属性】	
性別	3
年齢	3
居住地区	3
職業	4
【真岡市の満足度について】	
問 1 居住満足度	5
問 2 真岡市の施策（18項目）に対する満足度	6
問 3 幸福度	9
問 4 永住意思	9
【真岡市のイメージについて】	
問 5 「日本一のいちごのまち」	10
【市民協働のまちづくりについて】	
問 6 地域活動への参加状況	11
【健康づくりの推進について】	
問 7 健康づくりの取り組み状況	12
問 8 健康づくりに関する言葉の認知度	13
【生涯スポーツ・レクリエーションの振興について】	
問 9 スポーツやレクリエーションの活動状況	14
【地域医療体制の充実について】	
問 10 かかりつけの医療機関の有無	15
問 11 医療体制の満足度	16
【自然環境の保全と地球温暖化対策の推進について】	
問 12 自然環境の保全活動への参加	17
問 13 環境保全に関するボランティアへの関心	18
問 14 節電の取り組み	19
【国際交流の推進について】	
問 15 外国人との交流	20
【男女共同参画社会の実現について】	
問 16 固定的な性別役割分担意識について	22
問 17 男女平等について	23

【防災体制の整備・強化について】

問 1 8 災害に対して備えていること 24

問 1 9 防災情報の入手方法 25

【開かれた市政の推進について】

問 2 0 市政に関する情報を得られていると感じるか 26

【防犯対策の推進について】

問 2 1 犯罪に対する不安 27

【消費者の自立と保護について】

問 2 2 悪質商法などの消費生活に関する情報を得られているか 28

【その他】

問 2 3 真岡市の市政（まちづくり）への満足度 29

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「真岡市総合計画 2020-2024」に掲げる各施策の『成果指標（市民の皆さまの満足度等）』の把握を目的としたアンケート調査を実施するものである。

(2) 調査対象地域

真岡市全域

(3) 調査対象者

市内に在住する満18歳以上の男女

(4) 抽出方法

無作為抽出

(5) 調査方法

①調査票の配布は郵送により実施

②調査票の回収は以下の方法から回答者が選択

○調査票に直接回答記入し、返信用封筒で返送

○PCより調査票に記載したURLにアクセスし、回答フォームに回答

○QRコードにアクセス（スマートフォンまたは携帯電話）し、回答フォームに回答

(6) 調査期間

令和7年3月1日～令和7年3月28日

(7) 回収状況

◇配布数 : 3,000票

◇有効回収数 : 1,265票

◇有効回収率 : 42.2%

※グラフ・文中の標記について

- ◇グラフの基数は、特に標記のない限り総数（n=1,265）である。
基数が総数と異なるときには、その都度グラフ上に表記している。
- ◇各設問において、次の略称を使用している。
SA (Single Answer) : シングルアンサー（一つだけ選択回答）
MA (Multi Answer) : マルチアンサー（複数選択回答）
- ◇表やグラフの構成比は、項目ごとに小数点第2位を四捨五入することから、それらの合計が100.0%にならないことがある。

※標本誤差について

◇この調査の標本誤差は、次式によって得られる。ただし、信頼度を95%とする。

$$b = 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

b=標本誤差
 N=母数集団
 n=基礎・サンプル(回答者数)
 p=回答比率
 1.96=信頼度95%の場合

標本誤差の早見表は下表のとおりである。表の見方は、例えばある質問の回答者数が1,265人で、回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は、最大で±2.73%以内となることを示している。

たとえば、本調査のある設問に対し「そう思う」と回答した人が50%いた場合、真の値は95%の確率で47.3~52.7%の間にある、ということになる。

回答比率 基数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,265人	±1.64	±2.18	±2.50	±2.67	±2.73
1,200人	±1.68	±2.24	±2.57	±2.75	±2.80
1,100人	±1.76	±2.34	±2.69	±2.87	±2.93
1,000人	±1.85	±2.46	±2.82	±3.01	±3.08
500人	±2.62	±3.49	±4.00	±4.28	±4.37

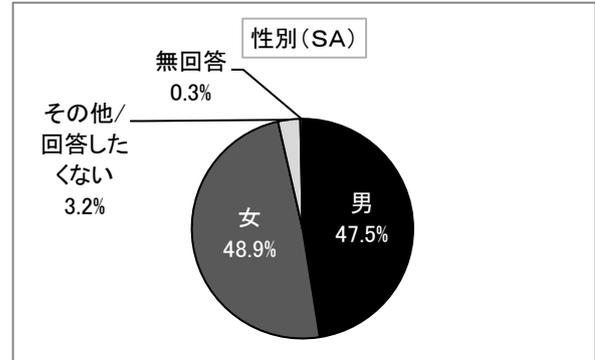
※令和7(2025)年4月1日現在における18歳以上の真岡市の人口66,824人を母集団として計算。
 (真岡市住民基本台帳より)

2 調査の結果

【回答者の属性】

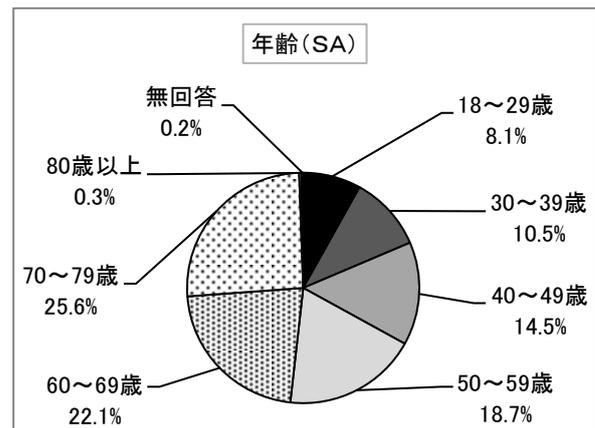
あなたの性別は。

性別	回答数	構成比
男	601	47.5%
女	619	48.9%
その他/ 回答したくない	41	3.2%
無回答	4	0.3%
合計	1,265	100.0%



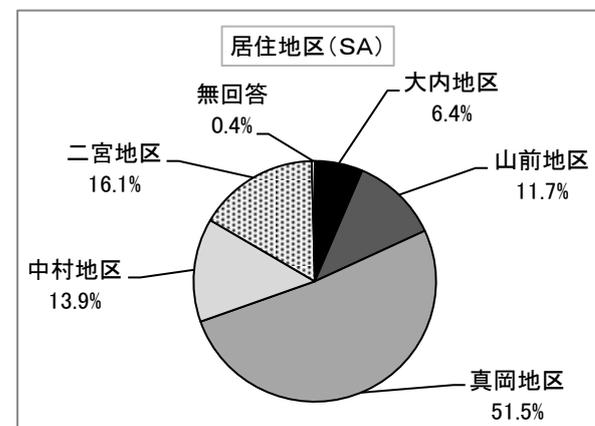
あなたの年齢は。

年齢	回答数	構成比
18～29歳	102	8.1%
30～39歳	133	10.5%
40～49歳	183	14.5%
50～59歳	237	18.7%
60～69歳	279	22.1%
70～79歳	324	25.6%
80歳以上	4	0.3%
無回答	3	0.2%
合計	1,265	100.0%

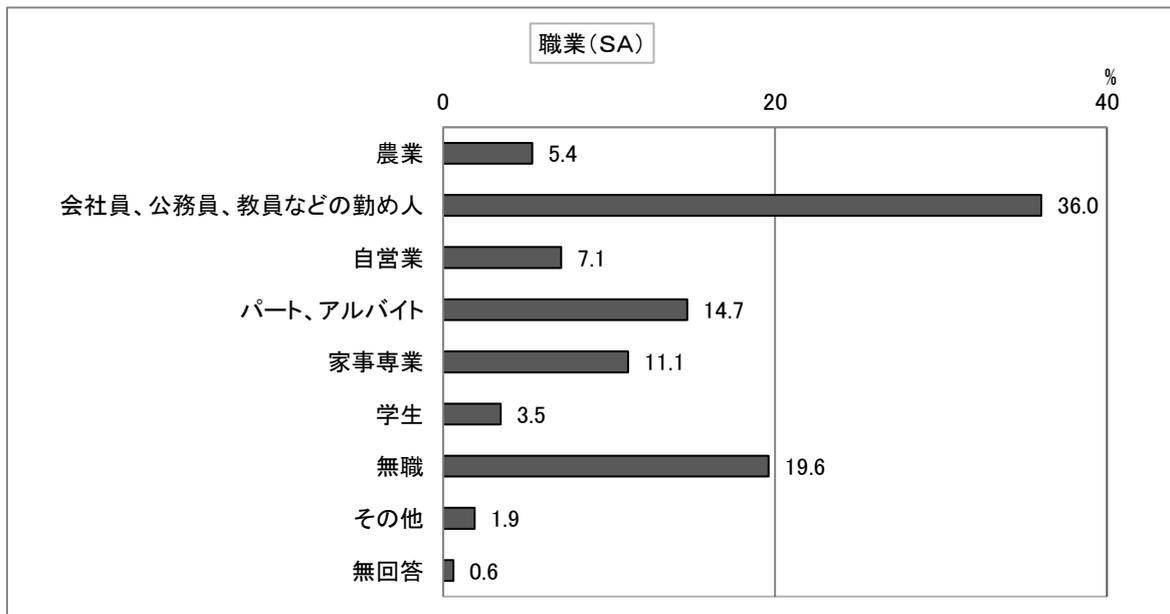


あなたの住んでいる地区は。

居住地区	回答数	構成比
大内地区	81	6.4%
山前地区	148	11.7%
真岡地区	651	51.5%
中村地区	176	13.9%
二宮地区	204	16.1%
無回答	5	0.4%
合計	1,265	100.0%



あなたの主たる職業は。



職業	回答数	構成比
農業	68	5.4%
会社員、公務員、教員などの勤め人	456	36.0%
自営業	90	7.1%
パート、アルバイト	186	14.7%
家事専業	141	11.1%
学生	44	3.5%
無職	248	19.6%
その他	24	1.9%
無回答	8	0.6%
合計	1,265	100.0%

【真岡市の満足度について】

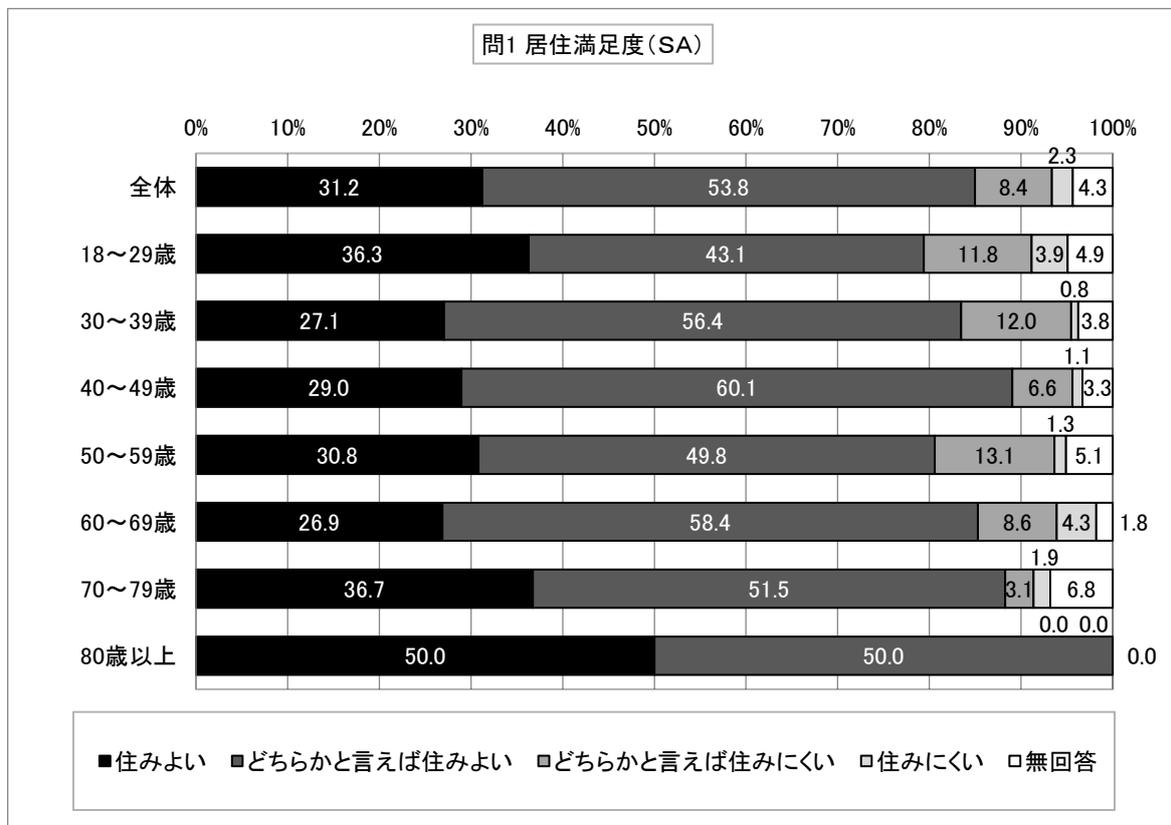
問1 あなたは、真岡市をすみよいまちだと思いますか。(○は一つ)

真岡市を住みやすいまちと思うについては、全体で「住みよい」「どちらかと言えば住みよい」を合わせた割合で85.0%の人が住みよいと思っている。

年齢別では、80歳以上100%が最も高く、次いで40～49歳89.1%、70～79歳88.2%の順で住みよいまちと思っている。

居住地区別では、中村地区89.8%が最も高く、その他地区でも80%以上の人が住みよいまちと思っている。

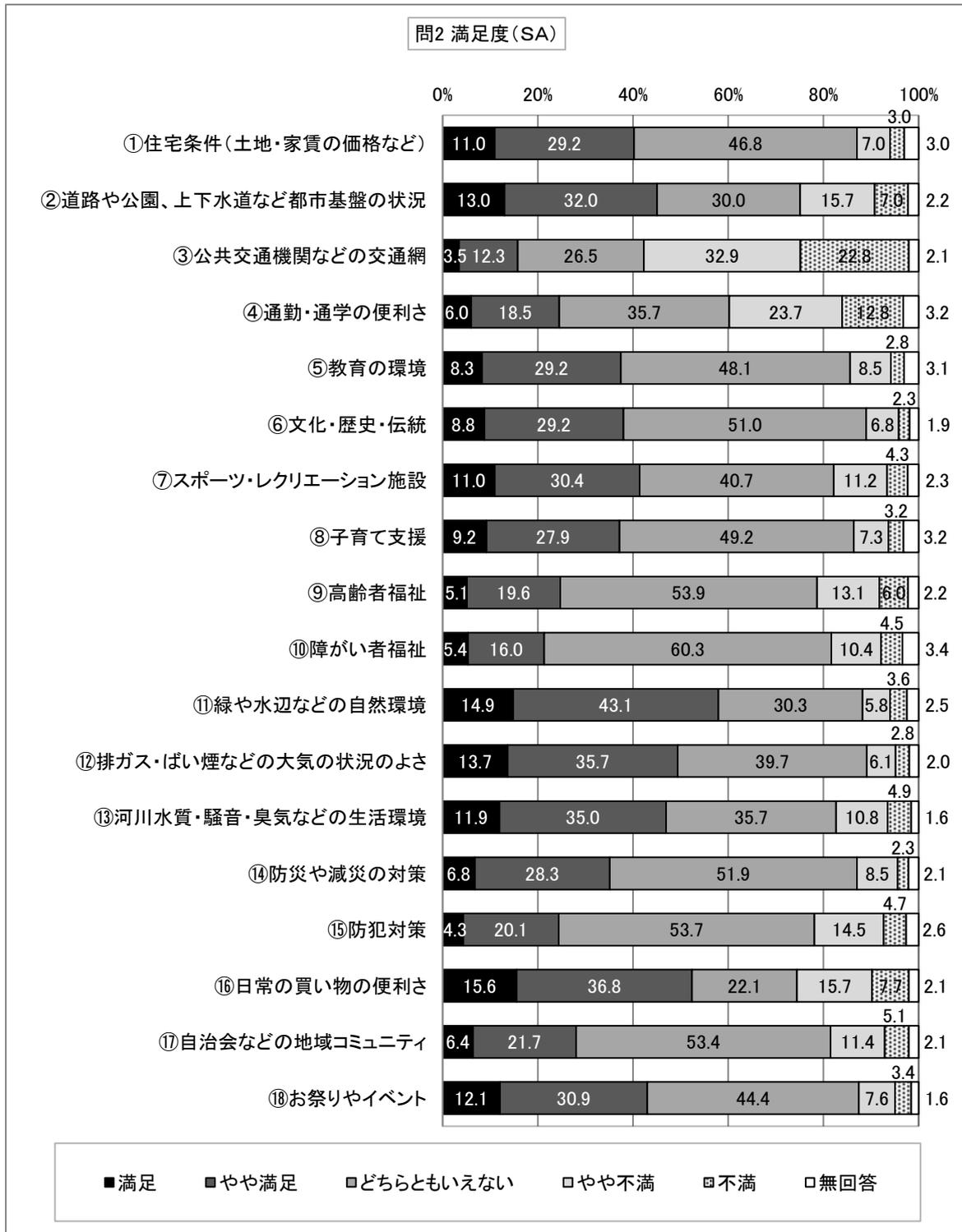
性別においては、大きな変化は見られなかった。



問2 あなたは、真岡市の次の項目について、日ごろ、どのように感じていますか。項目ごとに、満足度を5段階でお答えください。(項目ごとに○は1つ)

真岡市の施策(18項目)について、「満足」「やや満足」を合わせた割合が最も高い項目は、「⑪緑や水辺などの自然環境」58.0%、次いで「⑯日常の買い物の便利さ」52.4%、「⑫排ガス・ばい煙などの大気の状態のよさ」49.4%の順であった。

一方、「不満」「やや不満」を合わせた割合が最も高い項目は、「③公共交通機関などの交通網」55.7%、「④通勤・通学の便利さ」36.5%、「⑯日常の買い物の便利さ」23.4%の順であった。



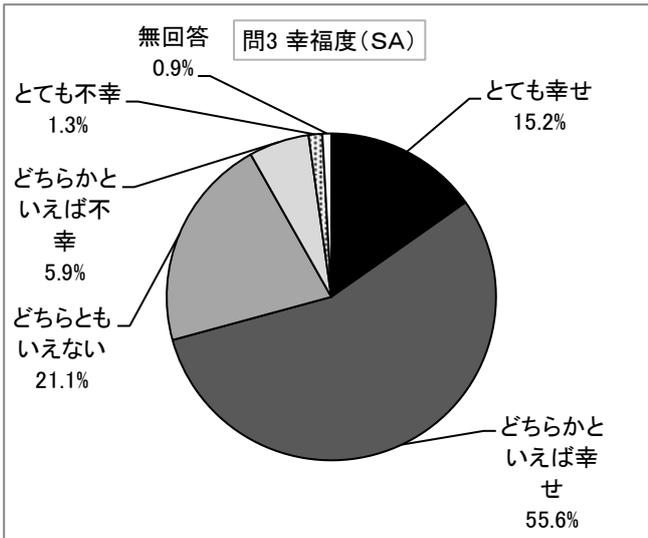
<満足順位>

順位	項目	「満足」+「やや満足」(%)
1	⑪緑や水辺などの自然環境	58.0
2	⑯日常の買い物の便利さ	52.4
3	⑫排ガス・ばい煙などの大気状況のよさ	49.4
4	⑬河川水質・騒音・臭気などの生活環境	46.9
5	②道路や公園、上下水道など都市基盤の状況	45.0
6	⑱お祭りやイベント	43.0
7	⑦スポーツ・レクリエーション施設	41.4
8	①住宅条件（土地・家賃の価格など）	40.2
9	⑥文化・歴史・伝統	38.0
10	⑤教育の環境	37.5
11	⑧子育て支援	37.1
12	⑭防災や減災の対策	35.1
13	⑰自治会などの地域コミュニティ	28.1
14	⑨高齢者福祉	24.7
15	④通勤・通学の便利さ	24.5
16	⑮防犯対策	24.4
17	⑩障がい者福祉	21.4
18	③公共交通機関などの交通網	15.8

<不満足順位>

順位	項目	「不満」+「やや不満」(%)
1	③公共交通機関などの交通網	55.7
2	④通勤・通学の便利さ	36.5
3	⑯日常の買い物の便利さ	23.4
4	②道路や公園、上下水道など都市基盤の状況	22.7
5	⑮防犯対策	19.2
6	⑨高齢者福祉	19.1
7	⑰自治会などの地域コミュニティ	16.5
8	⑬河川水質・騒音・臭気などの生活環境	15.7
9	⑦スポーツ・レクリエーション施設	15.5
10	⑩障がい者福祉	14.9
11	⑤教育の環境	11.3
12	⑱お祭りやイベント	11.0
13	⑭防災や減災の対策	10.8
14	⑧子育て支援	10.5
15	①住宅条件（土地・家賃の価格など）	10.0
16	⑪緑や水辺などの自然環境	9.4
17	⑥文化・歴史・伝統	9.1
18	⑫排ガス・ばい煙などの大気状況のよさ	8.9

問3 現在、あなたはどの程度幸せだと感じていますか。あてはまる数字に○をつけてください。
(○は一つ)



真岡市民の幸福度については、「とても幸せ」「どちらかといえば幸せ」を合わせた割合で70.8%の人が幸せと感じている。

性別では、男性65.3%、女性77.7%であり、女性の方が12.4ポイント幸福度は高い。

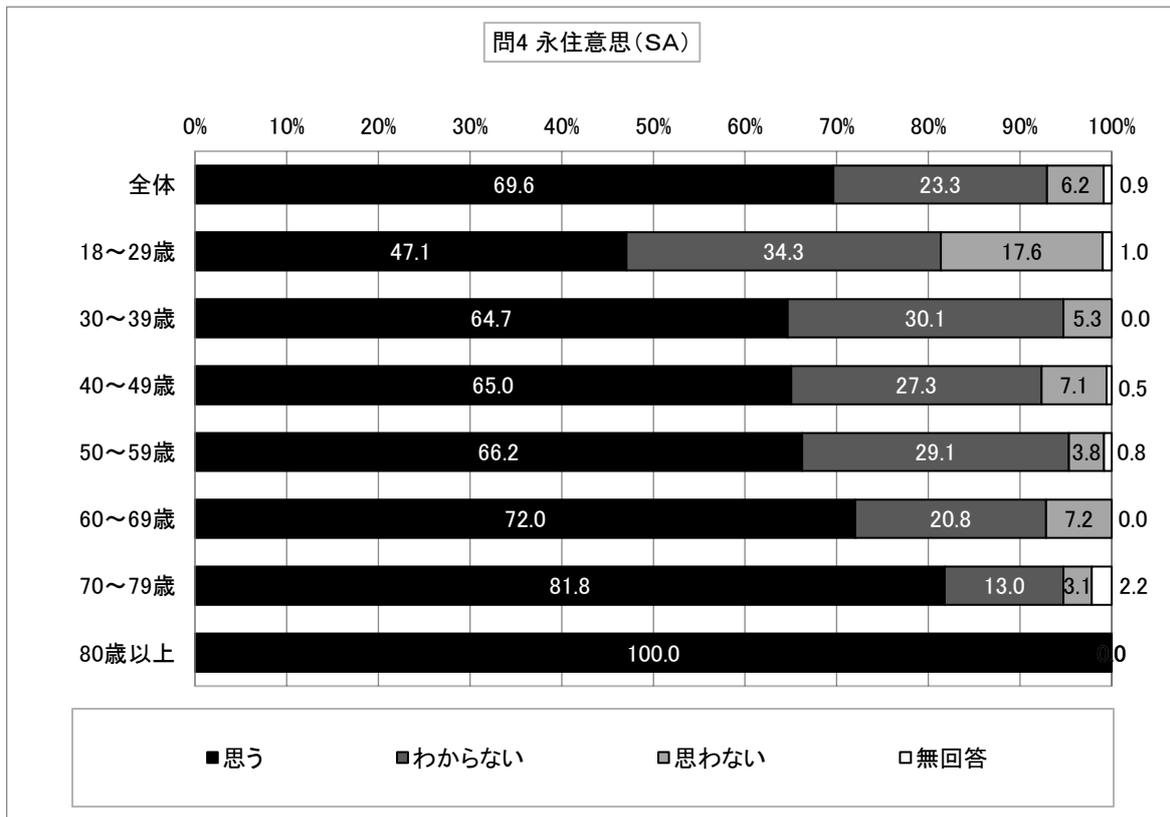
年齢別では、18～29歳76.5%が最も高く、次いで30～39歳75.2%、50～59歳70.5%の順で幸せと感じている。

問4 あなたは、これからも真岡市に住み続けたいと思いますか。(○は一つ)

真岡市への永住意思については、住み続けたいと「思う」が69.6%であった。

年齢別では、80歳以上の100%が最も高く、次いで70～79歳の81.8%、60～69歳の72.0%の順であり、年齢が上がるに連れて真岡市に住み続けたいと思う傾向がある。

性別・居住地区別・職業別においては、大きな変化は見られなかった。



問8 あなたは、健康づくりに関する次の言葉の意味を知っていますか。
 当てはまるものを1から3の中で1つずつ選んでください。(〇は1つずつ)

① ロコモティブシンドローム

健康づくりに関する言葉の意味について、ロコモティブシンドロームを「知っている」割合は17.3%であった。

性別では、男性11.1%、女性23.6%であり、女性の方が12.5ポイント高かった。

年齢別では、50～59歳21.5%が最も高く、次いで60～69歳20.1%、18～29歳18.6%の順であった。

② フレイル

健康づくりに関する言葉の意味について、フレイルを「知っている」割合は27.2%であった。

性別では、男性20.5%、女性33.9%であり、女性の方が13.4ポイント高かった。

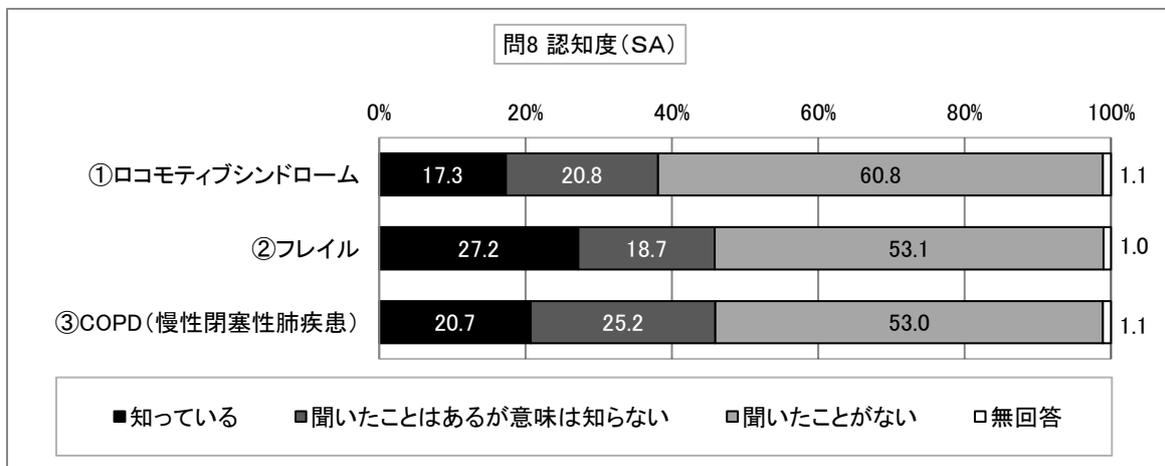
年齢別では、50～59歳31.6%が最も高く、次いで60～69歳31.2%、70～79歳27.8%の順であった。

③ COPD（慢性閉塞性肺疾患）

健康づくりに関する言葉の意味について、COPD（慢性閉塞性肺疾患）を「知っている」割合は20.7%であった。

性別では、男性14.8%、女性26.5%であり、女性の方が11.7ポイント高かった。

年齢別では、40～49歳24.6%が最も高く、次いで50～59歳23.6%、18～29歳21.6%の順であった。



【国際交流の推進について】

問15 あなたは、外国人の方との交流がありますか。それぞれの項目に対して、1から3の中で1つずつ選んでください。(○は1つずつ)

① 市内に住んでいる外国人の方との交流

外国人の方との交流については、「交流している」「たまに交流している」を合わせた割合は17.4%であった。

性別では、男性16.2%、女性18.7%であり、女性の方が2.5ポイント高い。

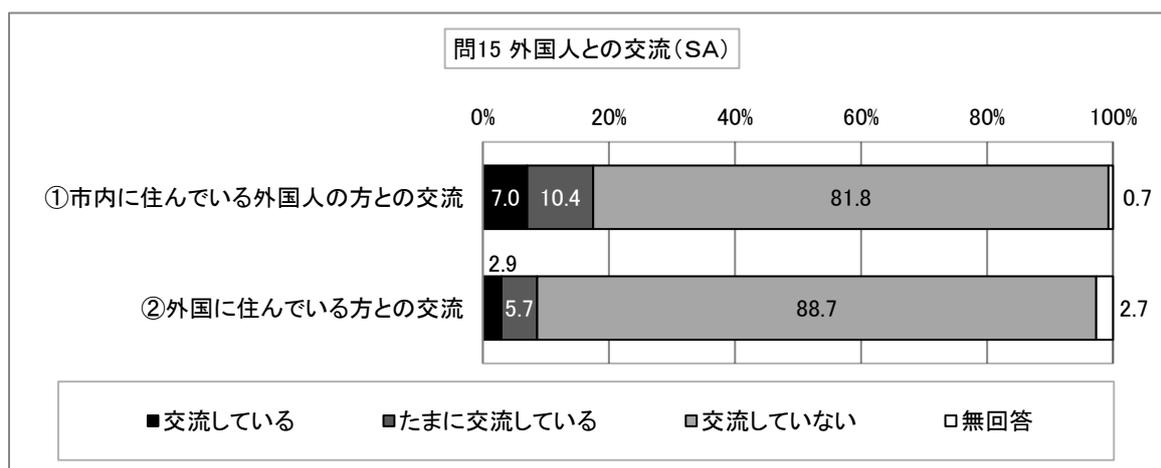
年齢別では、30～39歳と40～49歳の21.8%が最も高く、次いで18～29歳18.6%であった。

② 外国に住んでいる方との交流

外国人の方との交流については、「交流している」「たまに交流している」を合わせた割合は8.6%であった。

性別では、男性9.5%、女性7.9%であり、男性の方が1.6ポイント高い。

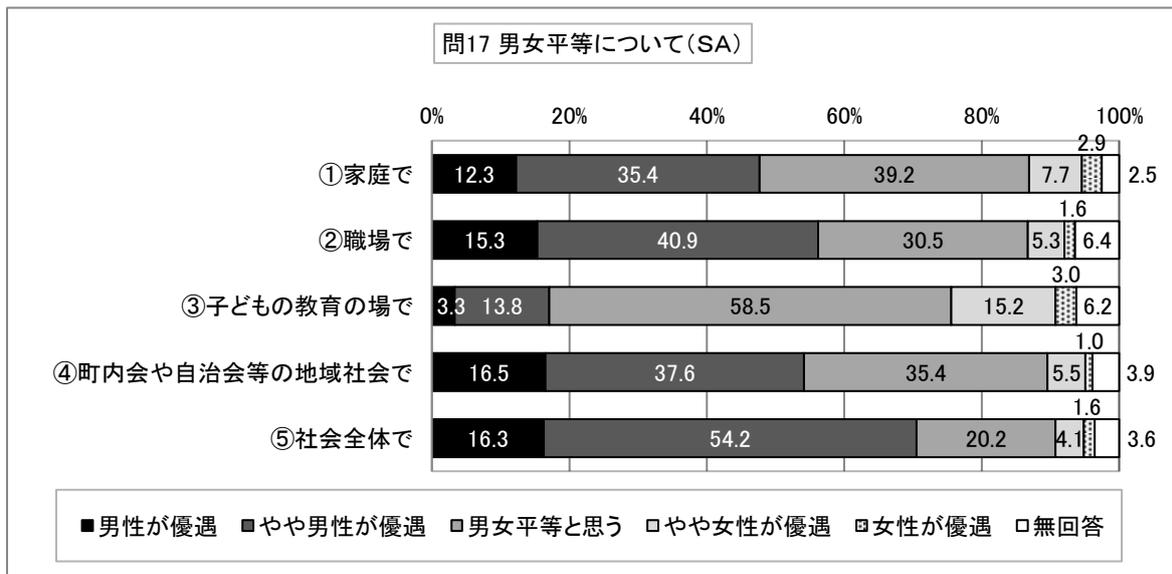
年齢別では、40～49歳12.6%が最も高く、次いで30～39歳12.1%、18～29歳11.7%の順であった。



問17 あなたは、次の場で男女の立場が平等になっていると思いますか。それぞれの項目に対して、1から5の中で1つずつ選んでください。(〇は1つずつ)

男女の立場の平等については、「男女平等と思う」が最も高い項目は、「③子どもの教育の場で」の58.5%であり、次いで「①家庭で」39.2%、「④町内会や自治会等の地域社会で」35.4%の順であった。

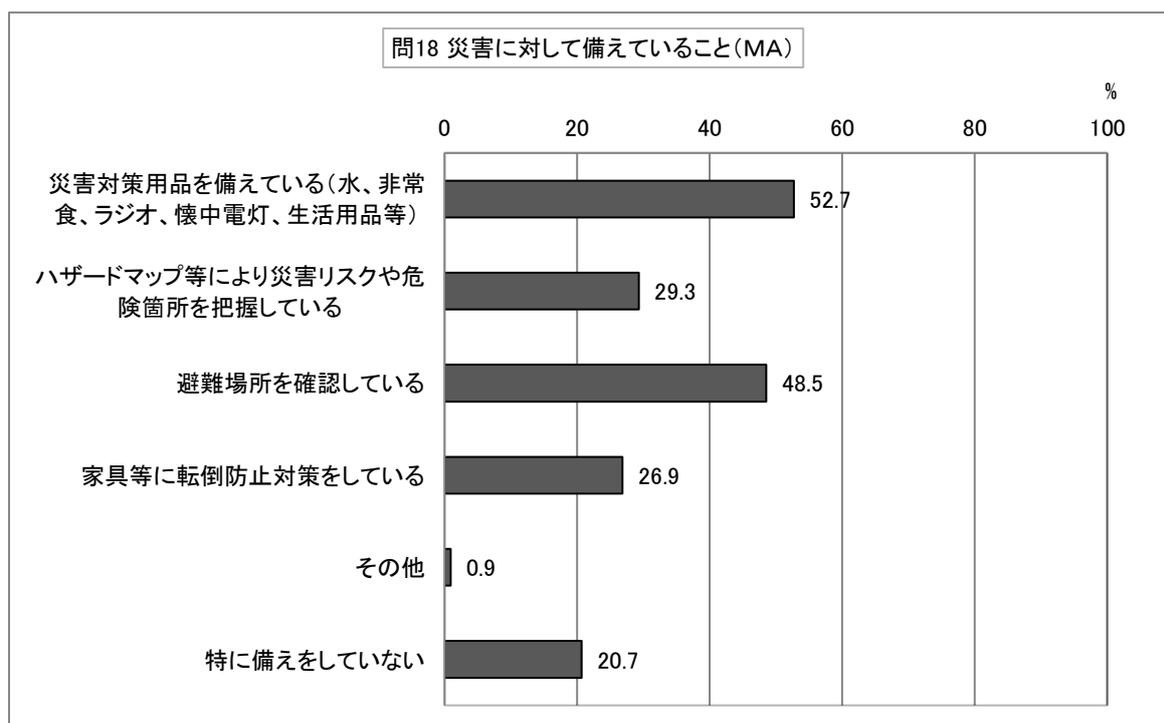
「優遇」「やや優遇」を合わせた割合で男女の優遇性を見ると、「①家庭で」は男性が47.7%優遇、「②職場で」は男性が56.2%優遇、「③子どもの教育の場で」は女性が18.2%優遇、「④町内会や自治会等の地域社会で」は男性が54.1%優遇、「⑤社会全体で」は男性が70.5%優遇であった。



【防災体制の整備・強化について】

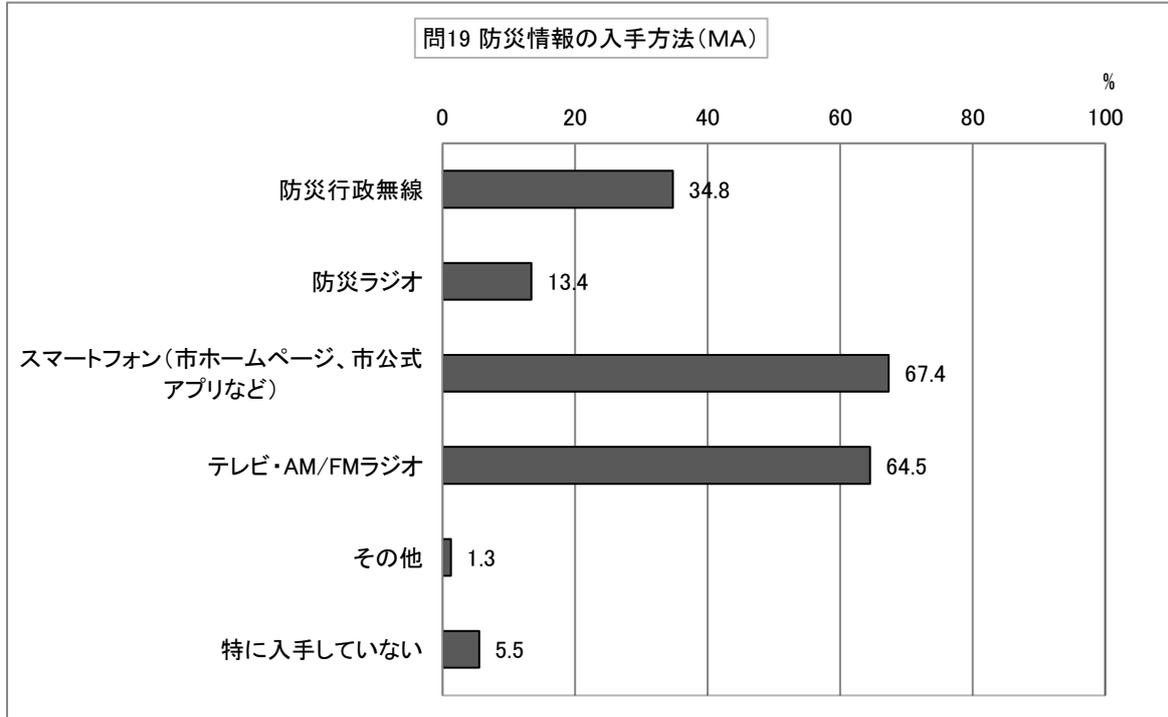
問18 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

災害に対しての備えについては、「災害対策用品を備えている(水、非常食、ラジオ、懐中電灯、生活用品等)」52.7%が最も高く、次いで「避難場所を確認している」48.5%、「ハザードマップ等により災害リスクや危険箇所を把握している」29.3%の順であった。



問19 あなたは、防災情報（気象情報、避難情報等）をどのように入手していますか。あてはまるものをすべて選んでください。（〇はいくつでも）

防災情報の入手方法については、「スマートフォン（市ホームページ、市公式アプリなど）」67.4%が最も高く、次いで「テレビ・AM/FM ラジオ」64.5%、「防災行政無線」34.8%の順であった。



令和7(2025)年度
施策評価にかかる『成果指標』把握のための
市民意向調査(市民アンケート調査)報告書
令和7(2025)年5月

編集・発行 真岡市総合政策部総合政策課
〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191
TEL : 0285-83-8102
FAX : 0285-83-5896
E-mail : sougouseisaku@city.moka.lg.jp
<https://www.city.moka.lg.jp>
